

あわい
栗井地区

面積：13.22km²
人口：7,210人（高齢化率 33.4%）
世帯数：3,108世帯

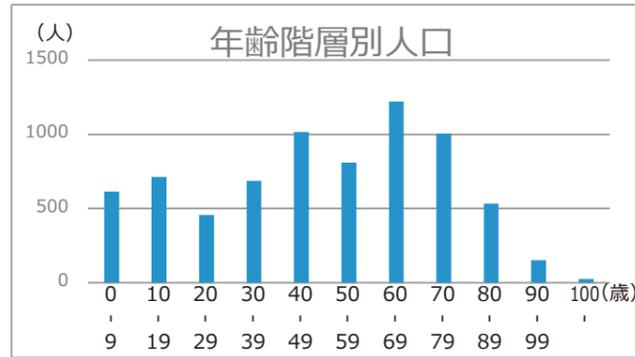


【地区の特色】

栗井地区は、農村地域と団地新興住宅地域の存在する地区であり、主に東部南部を中心に農業が営まれており、新興地域は市内への通勤者が多くを占めている。地区内には23地区の集会所があり、互いの連帯が図られた活動を通し地域づくりを推進している。



栗井地区の風景



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援が充実 ・各種団体と地域の連携がうまくできている 登下校の見守りがある（ボランティア） ・児童クラブと放課後子ども教室がある ふれあいマーケット&スマイルタウン ・ゲートボールやグラウンドゴルフが盛ん 地域のボランティアで山（宅並山）の管理をしている ・小中学生が挨拶をよくする 公民館でのサークル活動や地区行事などの活動が盛ん ・災害が少ない サロン（ふれあいいきいきサロン、地域交流サロン、子育てサロン）がある 障がい者の働く場所がある（かなさんどう） ・自然（山、海）が豊かで静かな地域
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時、避難時の人手に不安あり 役員の継続率が悪い 近くにスーパーやコンビニがない所が多い 地域活動に若年層の参加が少ない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者世帯の増加 ゴミ出しや買物困難者が増えている 地域行事等の参加者が固定化しているため、地域の絆が希薄になっている

栗井地区社会福祉協議会

やすらぎと 愛の泉の 栗井郷

構成団体	地区民協・自治会・健全育成推進協議会・PTA・日赤奉仕団・自主防災連合会 小学校・中学校・公民館・愛護班連絡協議会・高齢クラブ・ふれあいクラブ 消防分団・ボランティア団体
主な取り組み	活動内容
男性料理教室	地区内の男性を対象に講師の指導で料理を作り、一緒に食事をしながら交流を図っています。
いきいき健康教室	毎年、地域の人を対象に健康や福祉に関する身近な問題を取り上げ、講演会を開催しています。
囲碁将棋交流会	北部福祉交流の家において、囲碁将棋に興味を持つ人が集い、お互いに自由に打ち合っ楽しんでながら交流を図っています。

六年生を送る鯛めしづくり会（2月頃）

毎年、栗井小学校6年生の児童と地域の人と一緒に卒業祝いの鯛めしづくりをしています。鯛めしは北条の郷土料理で身近な料理ですが、「自分達で作ると時間もかかり、火加減が難しい。家で手伝いたい。」などと家族や地域の人に感謝をしながら調理を通して交流を図っています。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化・核家族化が進み、高齢者だけの世帯や身近に親族のいない世帯が増加してきている中、栗井地区社協では実施事業の一つ一つはたとえささやかであったとしても、次のような願いを精一杯込めて活動したいと考えています。

- ①諸事業を通じて人と人の出逢いを増やし、人と人の繋がりや輪が広がってほしいです。
- ②全ての人が住み慣れたこの栗井地区で最期まで健康に幸せに過ごしてほしいです。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	11名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	23団体 1クラブ 0団体
	■まち協の設立	—	■自主防災組織	21組織

地域住民等が出店するふれあいマーケットや子どもたちが企画から販売まで担って出店するスマイルタウンなど、世代を超えて地域住民の誰もが楽しめる活動を意欲的に行っている地区です。最近では、男性高齢者の社会的孤立化が社会問題となっていますが、地区社協の働きかけにより囲碁・将棋交流会の開催や男性を対象とした料理教室など工夫を凝らし男性が集う行事を積極的に実施しています。これらの活動は、人と人をつなげる仕組みづくりだけでなく地域の人的資源や物的資源を地域コミュニティの中で有機的に結び付け地区の価値を高める効果も併せて期待できるでしょう。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

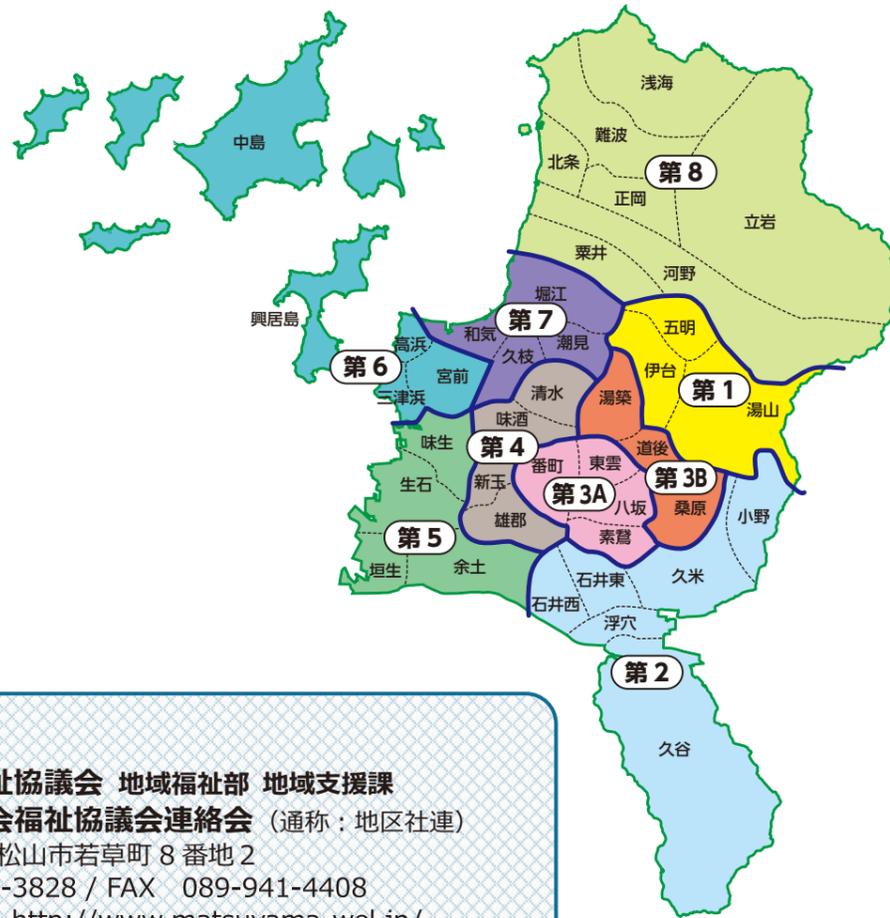
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地区
	生石地区
	味生地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏